

夢追う姿に感じる成長

18歳のリアル

③ 大学生

ストラクターの専門学校に行きたい」と相談された時だ。

大間町に住むパート従業員の新田さおりさん(47)は一人暮らし。「今でも頑張っているかな」。離れた八戸で奮闘する子と居間でひと思つく時間に、大事にしまつてある娘の表彰状を眺めるのが日課になった。

次女の凜さん(18)は中学、高校と陸上競技に打ち込んだ。今年4月に八戸学院大へ進学。走り高跳びの競技を続けながら、教員免許の取得を目指している。

小さな頃からさっぱりとした性格で、体を動かすのが大好きだった。表

「体を動かす仕事が好きなら、まずは大学に行きなさい。陸上が好きなら、先生という道もあるでしょ」。凜さんの返答は「分かった」。感情は読み取れなかったが、胸がチクリと痛んだ。

「体を動かす仕事が好きなら、まずは大学に行きなさい。陸上が好きなら、先生という道もあるでしょ」。凜さんの返答は「分かった」。感情は読み取れなかったが、胸がチクリと痛んだ。

凜さんは高校の先生、大学でできることを聞いた。

凜さんは高校の先生、大学でできることを聞いた。

遠くから娘を案じる日々



表彰状を眺める新田さおりさん。娘を案じ、成長をかみ締める。8月、大間町内

第2部 親心

ら決めていた。「うちが経済的に大変なことも考えてくれたんだと思う」。娘の選択に頭が下がる思いだった。

凜さんと離れて暮らすようになって5カ月余り。普段はスマートフォンで連絡を取り合う。初めての料理など、新生活の様子が伝わって安心する。

自ら進む道を見だし、「日々努力を重ねる娘。大人になっているんだ」と成長を感じる。一方で「親にしてみれば、年齢に関係なく、わが子はいつまでも子どもだと思ふ」とも。競技者でもある。アスリート先生になる夢がかなうことを、心から願っている。

(藤村大地)

(問) 18歳は大人？ 子ども？

18歳はやっぱり子どもだと感じる。自分で働いたことがなく、お金を稼ぐ大変さなどを分かっていない。大人になるということは、そういう社会の厳しさを知ることではないだろうか。